



## Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

### 評価報告書

#### ナウル共和国

— 平成 30 (2018) 年度 地域巡回機能回復等推進事業—  
(終了時評価—2019 年 4 月)

### 事業概要

国名	ナウル共和国
プロジェクト名	2018 年度 FDAPIN VI プロジェクト
実施期間	2018 年 7 月 4 日～2019 年 3 月 31 日
相手国政府覚書署名省庁名及び実施機関	覚書署名省庁：漁業海洋資源局 (NFMRA : Nauru Fisheries Marine Resources Authority) 実施機関：漁業海洋資源局 (NFMRA)

### プロジェクト実施の経緯と背景

ナウル共和国（以下、「ナウル」という。）政府は、2005 年に長期開発戦略（National Sustainable Development Strategy 2005～2025 (NSDS、2009 年に改訂)）を打ち出した。このうち海洋・漁業分野においては以下の 8 項目を戦略として掲げている。

1. 漁業海洋資源局（Nauru Fisheries Marine Resources Authority : 以下、「NFMRA」という。）の組織力の強化
2. 海洋資源からの持続的な経済収益の拡大
3. 商用漁業の開発の核となる民間漁業活動の促進
4. 水産養殖の開発促進
5. 食糧安全保障及び代替生計手段を広げる持続的な海洋資源の活用
6. 海洋生物及び生態系を保護するための持続可能な実践的活動の確立
7. 違法、無規制、無報告漁業の排除



## 8.沿岸海洋資源の調査

このような戦略の下、NFMRA ではワークショップの活用、資源調査等に用いる多目的船や多目的船の揚げ降しのための車両の管理運営等、幅広い活動を実施している。しかしながら、多目的船や車両は、故障、老朽化等により本来の機能を発揮することができず、漁業の開発・振興に支障を来している。

このため、ナウル政府は、公益財団法人海外漁業協力財団（以下、「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び現地技術者への技術移転についての要請を行った。

財団は我が国とナウルとの漁業関係の重要性に鑑み、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

### 目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産が増加し、小規模漁業が発展する。
プロジェクト目標	①関連施設が修理・修復され当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。 ②水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される。
成果	①NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導 NFMRA ワークショップ（修理・修復対象の非常用発電機、製氷機、多目的船、スリップウェイ及びボート上下架用ウィンチは、いずれも稼働中）の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。 ②漁具漁法、加工方法の調査及び技術指導 NFMRA 職員及び漁民に対し、中層曳縄漁具及び手釣り底釣り漁具等の紹介、作製指導及び魚の燻製加工方法の指導を行うことにより、新たな漁具・漁法及び魚の加工法が導入される。
活動	①NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導 多目的船の燃料系統やレーダー等及びスリップウェイウィンチについての修理・修復を実施した。また、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行った。 ②漁具漁法、加工方法の調査及び技術指導 中層曳縄漁具取扱い方法及び手釣り底釣り漁具等の作製の方法、扱い方法を指導するとともに、電動リールの使い方を指導した。また、燻製品の製造方法についての指導を行った。
投入	<b>財団側</b> 1) 専門家 ・ 計画 巡回指導：チームリーダー／漁船機関専門家 1名 漁業普及技術者 1名 2019年1月下旬～2月下旬（約23日） ・ 実績 巡回指導：チームリーダー／漁船機関専門家 1名 2019年2月15日～3月10日（24日） 漁業普及技術者 1名 2019年2月22日～3月10日（17日）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延日数 計画：46人・日 実績：41人・日（計画対比：89%）</li> <li>2)主な資機材 船外機の部品、航海機器（レーダー、GPS 他）、ウィンチ修理部品、漁具サンプル作製資材他</li> <li>3)事業費 予算額 10,389千円 実績額 10,389千円（予算対比：100%）</li> </ul> <p><b>相手側</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)主なカウンターパート <ul style="list-style-type: none"> <li>①NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導 NFMRA 職員 1名 2019年2月18日～3月7日</li> <li>②漁具漁法、加工方法の調査及び技術指導 NFMRA 職員 2名 2019年2月22日～3月10日</li> </ul> </li> <li>2)プロジェクト関連予算、土地、施設等 ワークショップ、事務室、NFMRA 車両の無償提供</li> </ul>
--	--

## 評価事項

### ◆ 妥当性

#### 1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、ナウル政府の長期開発戦略において海洋・漁業分野の重要戦略として記載されている「水産養殖の開発促進、食糧安全保障及び代替生計手段を広げる持続的な海洋資源の活用、商用漁業の開発の核となる民間漁業活動の促進」などに合致した事業内容であり、妥当と判断される。

#### 2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

ナウル政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転を要請されており、事前調査において NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導、並びに漁具・漁法、加工方法の調査及び技術指導に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

#### 3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、廃棄部品等の扱いについては、周辺の自然環境や島民の生活環境に悪影響を及ぼさぬよう、常に環境保全に配慮して

いる。

#### 4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。今回の対象は、ワークショップ、製氷機、多目的船等が主であり、これらは周辺水域の水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものではない。

漁具漁法の指導は効率的な漁業に繋がるものであるが、曳縄に関しては外洋性の魚種を対象にしたものであり、また船外機付きボート使用の小規模零細漁業者が対象であり、資源への影響を問うほどの規模ではない。底釣りに関しても同様の零細漁業者が対象であり、また NFMRA は沿岸漁業振興と同時に資源管理も念頭においており、適宜調整が行われるものである。外洋性の魚種が加工の対象となる場合、加工の規模からみても資源への影響を危惧する必要はない。底魚が加工の対象の場合は、NFMRA が進める資源管理の範囲の中で実施することとなる。

#### 5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

### ◆ 効 率 性

#### 1. 事業費及び実施期間

事業費は予算内に収まり、実施期間は計画より短くすることができたことから、効率性は高い。（予算及び計画対比：事業費 100%、実施期間 89%）

#### 2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

#### 3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、巡回指導及び漁業普及とともに、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

#### 4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

特になし。

#### 5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

## ◆ 有効性

### 1. プロジェクト目標の達成度

#### ① プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上  
計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの基礎知識及び技術レベルは益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

プロジェクト目標：水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われたことから、プロジェクトの目標は達成された。

#### ② その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

### 2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

#### ① NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導

期待された成果：NFMRA ワークショップの修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する

施設、多目的船及びスリップウェイウインチ（いずれも稼働中）の修理・修復を実施し、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行ったことにより、施設の稼働が円滑になった。

#### ② 漁具漁法、加工方法の調査及び技術指導

期待された成果：NFMRA 職員及び漁民に対し、中層曳縄漁具及び手釣り底釣り漁具等の紹介及び作製指導、魚の燻製加工方法の指導を行うことにより、新たな漁具、漁法及び魚の加工法が導入される

技術指導により新たな漁具・漁法及び水産物の加工法が導入された。

## ◆ インパクト

### 1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、多目的船の修理・修復に関する NFMRA のカウンターパート及び多目的船及びワークショップオペレーターの技術が向上した。また、技術指導により新たな漁具・漁法及び水産物加工法が導入されたことから、プロジェクト目標は達成さ

れた。

今後、多目的船が順調に稼働し、新たな漁具・漁法及び水産物加工法が順調に機能すれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産の増加、小規模漁業の発展に一定の効果を及ぼすとともに、ナウル政府が策定した長期開発戦略に掲げる「水産養殖の開発促進、食糧安全保障及び代替生計手段を広げる持続的な海洋資源の活用、商用漁業の開発の核となる民間漁業活動の促進」の達成にも寄与する。

## 2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、多目的船が安定的に稼働し、沿岸海洋資源に関する科学調査や民間漁船の遭難時の救助等に安定的に対応できるようになった。

また、今後新たな漁具・漁法及び水産物加工法が順調に普及すれば、生産物の多様化と付加価値の向上が図られ、魚価の向上が期待できる。それにより安全で管理の行き届いた漁業が活性化して漁民の所得が向上し、対象地域の経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

さらに、水産物の新たな加工法が地域住民に普及されれば、雇用の増加及び収入の多様化が生まれ、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

## 3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

## 持続性

### 1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは NFMRA の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、非常用発電機及び多目的船の稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

### 2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、ナウル政府は当該施設の継続的運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識しており、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

### 3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上